

【担当教員】

橋本 圭子

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的および達成目標】

不登校、いじめをはじめ、近年の教育現場における多様な問題に対して、教育相談が果たす役割が重要になっている。この講義は、教職を目指す者が理解しておくべき教育相談の基礎を学ぶことを目的とする。教育相談の意義と内容について理解を深めること、各種の障害や子どもの不適応に関する基本的知識を身につけること、教師として生徒の諸問題に対処しようとする際の適切な態度の涵養と関係者間での協力や連携の重要性について理解することを目指す。

学習・教育目標

Ⅰ. 幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識を身に付けている。

【授業キーワード】

教育相談、精神保健、不適応行動、心理療法

【授業内容および授業方法】

まず学校教育相談の基礎事項として目的・方法・体制、生徒指導・進路指導との関わりについて、関係諸機関との連携について、またカウンセリングに関する基本的事項を講義する。次いで、児童・生徒の心の不調や障害及び不適応行動に関する理解と対応、保護者との関わり、教師のメンタルヘルスについて、講義する。講義は集中講義による。

【授業項目】

- 第1回：イントロダクション:教育相談とは何か
- 第2回：教育相談の意義、生徒指導との関わり
- 第3回：教育相談の体制づくり、教員による教育相談
- 第4回：教育相談面接の基礎、技法
- 第5回：スクールカウンセラーによる教育相談、専門機関との連携
- 第6回：カウンセリングの基礎理論
- 第7回：心理アセスメント
- 第8回：青年期の心の理解
- 第9回：生徒理解のための精神医学的基礎
- 第10回：発達障害の理解と対応
- 第11回：不登校の理解と対応
- 第12回：いじめの理解と対応
- 第13回：非行、その他の生徒の問題行動の理解と対応
- 第14回：保護者への対応、保護者との関係づくり
- 第15回：教師のメンタルヘルス

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため参考図書や配布するプリントを参照し、1回の授業内容に関する予習を90分相当、復習を90分相当行うことが望ましい。特に「生徒指導提要」は文部科学省のサイトにも公開されているので、集中講義開始までに読んでおくこと。

【教科書】

なし。講義ノート用のプリントを配布する。

【参考書】

文部科学省「生徒指導提要」教育図書，2010年
大芦治「教育相談・学校精神保健の基礎知識」ナカニシヤ出版
井上洋一・清水将之「学校カウンセリング」岩崎学術出版社
齊藤万比古「不登校の児童・思春期精神医学」金剛出版
森田洋司「いじめとは何か 一教室の問題、社会の問題」中公新書
松本俊彦「自傷行為の理解と援助」日本評論社
G. C. デビソン & J. M. ニール「テキスト臨床心理学1～4」誠信書房
その他、随時紹介する。

【成績の評価方法と評価項目】

各授業日の終わりに課す確認課題（80%）と、最終レポート（20%）により評価する。